

■ 3年生の進路希望について

4月に行った3年生の進路希望調査の結果です。現3年生は132名ですが、一部の生徒が4月時点では迷っていて複数回答しており、希望者数は学年の合計を上回っています。現時点で就職希望者は10名弱とのことです。希望進路実現に向けて、しっかりがんばっていきましょう！

現時点でのあなたの進路希望は？	希望者数
4年制大学進学（東日本国際大学進学希望を含む）	79名
短期大学進学（いわき短期大学進学希望を含む）	12名
専門学校進学	37名
就職	21名
その他	3名

■ 日本学生支援機構・奨学金の申込みについて

6月3日（火）の昼休みに3年生を対象に、日本学生支援機構奨学金の「予約採用」についての説明会を開催しました（※6月3日に参加できなかった生徒については、6月5日（木）までに説明を済ませています）。



A3版の要項を配付してあります（※BLENDでも配信済み）ので、よくご確認のうえ、進めてください。4月の保護者対象進路活動説明会では、今年度は1回目（5月中）の受付期間から受け付けるという話をさせていただきましたが、諸般の事情により2回目（6月）と3回目（7月）での校内受付・入力となります（※下記の表を参照してください。受付期間でスカラネットに入力する内容を進路指導部の担当教員に確認してもらったうえで、入力期間内に学校で入力してください。入力については、期日が近づきましたら担任を通してご連絡いたします）。なお、7月までに入力が済まなかった場合には、日本学生支援機構奨学金の予約採用の対象にはなりませんのでお気をつけください。7月までに申し込んだとしても、最終的に届いた結果通知に基づいて、大学や専門学校の入学手続きの際に日本学生支援機構奨学金の手続きをしなければ申し込んだことにはならず、キャンセル扱いになります。進学か就職かで迷っている場合には、一応、申し込んでおいた方がよろしいかと思われます。

	申込み書類の校内受付期間	スカラネットの入力期間	結果通知時期
1回目	今年度は受付いたしません。	今年度は受付いたしません。	10月下旬
2回目	6/5（木）～6/19（木）	6/23（月）～6/26（木）	11月下旬
3回目	7/1（火）～7/10（木）	7/14（月）～7/17（木）	12月下旬

■卒業生の合格体験記

3月に本校を巣立った昨年度卒業生の合格体験記です。今回は、中央大学に進学した菊田大翔さんと芝浦工業大学に進学した梁敏さんです。それぞれ早い段階で的確な情報を得てがんばること、筆者の受験時代には考えられない独特の学習法などが紹介されています。みなさんの中でもすでに取り入れているという人もいるかもしれませんが、ぜひ参考にしてほしいと考えています。一読してみてください。

【合格体験記】 菊田大翔さん（昨年度3年4組）
中央大学文学部 成城大学文芸学部
明治学院大学文学部・経済学部 武蔵大学人文学部
いずれも一般入試で合格
東洋大学経済学部 総合型で合格

私は中央大学はじめ、多くの志望校に合格することができました。受験を通して、まず1・2年生の時に重要だと感じたことの1つ目は受験について知ることです。僕には兄がいたため、勉強法や分かりやすい参考書を早くに知ることができたり、英単語だけは2年生からやるべきだというアドバイスのおかげで、3年生になってから英単語を覚える必要がないなど大きなメリットを得ることができました。1・2年生の人はYouTubeで勉強法や受験についての動画を見ることがや兄弟がいる人は受験について聞くなど、早めに受験に対する意識を持つことが重要だと思っています。



2つ目は英語の勉強に音読することを取り入れることです。音読することで英語に対する理解力がとても上がったと実感しています。特に英単語と英語の長文の音読は絶対にした方がよいと思っています。英単語を音読する理由は圧倒的に記憶に残るからです。僕は元々英単語を覚えるのがとても嫌いで覚えるのに苦労していましたが、百式英単語という音読で覚える本に出会いました。音読で覚える方法は忘れにくく、覚え方もただ20分間単語を声に出すだけなので、大量に楽に単語を覚えることができました。英単語を暗記するのが嫌いだったり、苦手という人に音読で覚える勉強法は本当にお勧めします。

以上が受験を通して重要だと思った2点です。後輩のみなさん、志望校に向けてぜひ頑張ってください。

【合格体験記】 梁敏さん（昨年度3年4組）

芝浦工業大学システム理工学部数理科学科合格（総合型）

私は芝浦工業大学のシステム理工学部数理科学科を志望しました。試験内容は、数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C）、化学（化学基礎・化学）と面接（20分程度）でした。筆記試験の過去問は公開されていないので、受験前にはかなり不安がありました。数学はマーク模試と同じように誘導する問題が多く、あまり難しいとは感じませんでした。化学は選択問題がほとんどでしたが、「（あてはまるものを）すべて選べ」という問題



形式が多いので、基礎知識をしっかりと理解しておく必要があります。面接は口頭試問と数学に関する質問でした。面接官の中の一人は、オープンキャンパスに参加した時に話したことがあった先生だったので、緊張が少しほぐれました。

推薦入試の場合、どの大学も志望理由書を書くことになりますが、私は3つのポイントに気をつけました。①志望理由書は自分の第一印象につながるものであり、自分の言葉で「ぜひ入学したい」とか「ここで学びたい」という気持ちがしっかりと伝わるように、自分の気持ちをしっかりとこめて書くこと。②志望校の特色、学べること、取得できる資格などについてきちんと調べ、正しい情報を手に入れること。③自分の過去・現在・将来をしっかりと考えること。

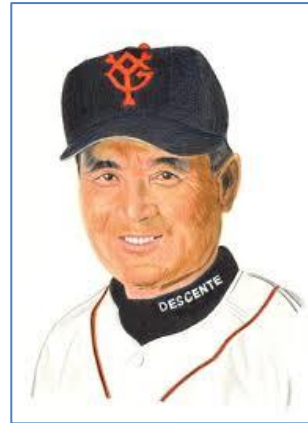
②については、オープンキャンパスやSNS上で大学の先輩方と話をしておくのも一つの方法です。これによりホームページでは調べられない情報を手に入れることができます。

③について、「過去」と「現在」は大学のアドミッションポリシーとつながっており、自分の「過去」「現在」と大学のアドミッションポリシーにブレがないようにしておかなければなりません。それに基づいて、自分の「将来」をしっかりと描けるようにしておきましょう。

受験にあたっては、先生・友人・親からたくさんのサポートをいただき、本当に感謝しています。皆さんも一人で抱え込まないで、たくさんの人と相談して受験を乗り切ってください。今まで頑張ってきた自分を信じて受験に臨んでください！！

■長嶋茂雄さん死去

プロ野球、読売巨人軍の選手、監督として活躍し、「ミスタープロ野球」と呼ばれた長嶋茂雄さんが6月3日に89歳で亡くなりました。筆者は同じく巨人の選手、助監督、監督として活躍した王貞治さんについては、小学2年生のときに引退しましたので、選手時代の「800号ホームラン」をテレビで見ていたことなどは覚えています。長嶋さんについては2歳のときに引退しましたので、選手時代のことは全く分かりません。長嶋さんと言えば、「監督」のイメージが強いです。長嶋さんのことについて、6月3日付の読売新聞夕刊の「よみうり寸評」と6月4日付の朝日新聞の「天声人語」から引用しますので、その偉大な功績、人柄について触れてみてください。



「よみうり寸評」【1958年から17年間、長嶋茂雄さんは現役でプレーした。どんな存在だったのか。サトウハチローが一編の詩にうたっている◆〈疲れ切った時／どうしても筆が進まなくなった時／いらいらした時／すべてのものが いやになった時／ボクはいつでも長嶋茂雄のことを思い浮かべる〉。常に同時代人の視線を浴び、同時代人を元気づけた。文字通り戦後最大のスターだった◆終身打率3割5厘、通算本塁打444本・・・記録を並べるだけでは全貌（ぜんぼう）は浮かんでこない。打って、守って、走る。どんな場面でも「絵になる」ことで観衆を魅了した◆ファンから好きな四字熟語を求められ、色紙に「長嶋茂雄」と書いたという話が世に伝わる。〈名前だけで意味を成す、不世出の野球スターだと思う〉。長嶋さんの自伝に寄せた北野武さんの言葉にうなずくほかない◆冒頭の「長嶋茂雄選手を讃（たた）える詩」は、こう続く。〈長嶋茂雄はやっているのだ／長嶋茂雄はいつでもやっているのだ〉。その姿はファンの脳裏で永久に不滅である。】

「天声人語」【「巨人ざらい」の話は聞いても、「長嶋ざらい」の人にお目にかかったことはない。だれにでも愛される、幸福な人。1974年、長嶋茂雄さんが現役を引退するという日の朝に、天声人語は敬意を込め、そう書き出している◆半世紀が過ぎても、印象は変わらない。きのう訃報（ふほう）に接し、謹（つつし）んで同じ言葉を贈りたい気持ちである。愛された理由は何よりも、明るさではなかったか。こういう人をまさにスターと呼ぶのだろう◆思い出すのは、幼いころ、夏の夕暮れに見た野球中継の光景だ。家族や近所の人たちと縁側に座り、白黒テレビの小さな画面に見入った。「4番、サード、長嶋」。あの何とも言えぬ調子のアナウンスが流れると、もう、たまらない。どっと揺さぶられるようにみんなの声があがり、物語が始まった◆デビュー戦の4打席連続三振をはじめ、規格外の逸話は事欠かない。苦難をものともせず、がむしゃらに立ち向かっていく。晩年の闘病生活もそうだった。挑戦を続けるミスターの姿に、どれだけ多くの人が励まされたことか◆昭和の高度成長の時期、人々の目の前にある現実を決して明るさばかりではなかった。いや、むしろ影の闇の深さの分だけ、長嶋さんという光の輝きが、より強く浮かび上がったのかもしれない◆「失敗は成功のマザー」「初めての還暦を迎えました」。言葉の妙で、だれをも笑顔にさせる天才だった。幾多の人が明日を信じ、歯を食いしばった時代の象徴が、遠くへと旅立った。】

長嶋さんは、巨人やメジャーリーグのニューヨーク・ヤンキースなどで活躍した松井秀喜さんを日々の徹底した素振りの指導で大打者に育て上げました。松井さんも「野球選手として大事なことをたくさん授けられた」と感謝の気持ちを表しています。今後、どのような形で長嶋さんとの“約束”を果たし、松井さんから若い選手たちに継承されていくのかを楽しみにしたいと思います。

文責：進路指導部 清水聖